

令和5年度（2023年度）事業計画書

川西市立総合医療センター <令和5年4月1日～令和6年3月31日>

川西市立総合医療センター 事業計画書
＜令和5年4月1日～令和6年3月31日＞

1. 基本方針

①理念・基本方針

■理念

- 安全・安心で良質な医療を提供します。
- 常に新しいアイデアとチャレンジ精神を持って日々地道な努力をする人材を育成し、豊かな人間性と夢ある職場を作ります。

■基本方針

1. 患者さんの立場に立ったあたたかい医療を実践します。
2. 信頼と満足が得られる病院を目指します。
3. 地域に密着した病院を目指します。
4. 健全な病院経営を目指します。

②社会医療法人化

- ◇社会医療法人認定を目指します。

川西市立総合医療センターの管理・運営をしていくにあたり、社会医療法人化に向け準備を進めております。

2. 地域ニーズに応じた診療体制

①入院機能 病棟編成

- ◇病床数 405床

- ◇1日あたり想定患者数 367人

- ◇1日あたり入院診療単価 56,800円

◇病棟編成

- 3階HCU（急性期：20床）高度治療室
- 4階西病棟（急性期：42床）
- 4階東病棟（急性期：43床）
- 5階西病棟（急性期：42床）
- 5階東病棟（急性期：43床）
- 6階西病棟（急性期：42床）
- 6階東病棟（急性期：43床）
- 7階西病棟（急性期：39床）※内、SCU3床（脳卒中集中治療室）
- 7階東病棟（急性期：42床）
- 8階病棟（急性期：49床）※内、新生児4床

②外来機能

◇1日あたり想定患者数 410人（土日祝を含む366日平均値）

◇1日あたり外来診療単価 13,500円

◇診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、神経内科、ペインクリニック内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、精神科、救急科、麻酔科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科

◇診察日・受付時間

診察日：月曜日～土曜日（祝日を除く）、※土曜日は専門外来のみ

受付時間：8：30～11：30

③地域医療連携

- ・PSC（患者支援センター部門）を設置し、紹介及び逆紹介患者への迅速な対応や開放病床の利用促進など、登録医や地域医療機関との連携をより強化いたします。
- ・退院調整等の患者相談体制を充実し、入院から退院・在宅への移行が円滑に行えるよう、回復期や慢性期医療機関、介護施設、在宅医との連携を強化いたします。

④救急医療

- ・救急科を設置するとともに救急初療室を4床確保し、各専門診療科との連携を密に行い、救急患者の受け入れ体制を充実いたします。
- ・兵庫医科大学病院等の3次救急医療機関との連携強化を図ります。
- ・救急科、循環器内科及び脳神経外科において救急ホットラインを運用いたします。
- ・ドクターカーを配備いたします。

⑤小児医療

- ・小児科専門医を増員し小児医療体制の充実を図ります。
- ・阪神北圏域小児救急2次輪番病院として、1次救急の「阪神北広域こども急病センター」、3次救急の「県立尼崎総合医療センター」との連携を図り、小児救急患者の受け入れに対応いたします。

⑥周産期医療

- ・安心して出産が出来るよう産科PR動画を活用したり、ご要望に応じて無痛分娩を実施いたします、また第二協立病院と連携し、不妊診療体制の充実を図ります。

⑦ 5 疾病医療

- ・ がん

兵庫県がん診療連携拠点病院に準じる病院として、がんの予防・早期発見から集学的治療まで、総合的ながん医療体制を強化する。なお、PET 検査、放射線治療などについては、患者にとって最適な治療を受けることができるよう、高度専門病院との連携・紹介等を通し、地域医療のハブ的役割を担う。

- ・ 脳卒中

脳卒中や外傷などの急性期の診断から治療、急性期リハビリテーションまでの高度かつ総合的な急性期脳卒中医療への対応を強化する。

- ・ 急性心筋梗塞

入院治療を要する患者の治療管理等、内科的治療を行う。なお、心臓血管外科領域については、周辺の専門医療機関との連携強化によって医療体制の充実を図る。

- ・ 糖尿病

糖尿病診断、患者教育、糖尿病合併症診断および他診療科との連携による糖尿病合併症の集学的治療を行う。なお、透析については、導入透析の対応を行い、維持透析については、地域医療機関（かかりつけ医）と連携しながら治療を行う。

- ・ 認知症

精神疾患以外の入院・外来患者で認知症を合併した患者への対応を行う。上記以外の患者は原則、専門病院と連携し、診療体制の充実を図る。